

たんぽぽだより

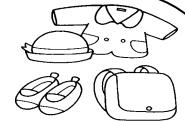
令和4年4月28日
川口市立舟戸幼稚園
年中たんぽぽ組

新緑の若葉が美しいころとなりました。進級・入園してから約3週間が経ち、幼稚園の生活や友達と遊ぶ楽しさを味わいながら、元気一杯過ごしています。一人一人が安心して過ごし、「幼稚園って楽しいね!」「明日も幼稚園に行きたい!」という期待をもって遊びや生活が十分楽しめるように、保護者の皆様と力を合わせて過ごしていきたいと思います。

1年間、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



自分でできたよ!



「おはようございます」と登園した後は、自分で身の回りのことをします。園服は袖が裏返しにならないように脱いで掛けたり、コップとタオルを掛けたり、シール帳にシールを貼ったり、検温カードを開いて出したりします。そのあとは、手洗い・うがいをしてから遊び始めます。新しい保育室、新しい自分のマークに「あれ?どこだっけ?」と、戸惑う様子も見られましたが、「もう終わったよ」「自分でできたよ」と、嬉しそうに自分でできたことを教えてくれます。

遊んだ後の片付けでは、かごや棚に貼ってある写真を見ながら、「次に使う人が困らないように片付けようね」「みんなの物だから大切に使おうね」と、たたんだり揃えたりして片付けています。

自分の身の回りのことや、手洗い・うがい、排泄、片付けなど、生活に必要なことを自分でやることや、自分でできたという気持ちを大切にしながら、一人一人に丁寧に関わっていきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の『健康な心と体』『自立心』『道徳性・規範意識の芽生え』につながる姿が見られます。



何して遊ぼうかな



身支度が終わった後は、好きな遊びです。ままごとやブロック、ソフト積み木などで遊んだり、ストローや折り紙、お花紙などを使って好きな物を作ったり、戸外ではブランコやスクーター、虫探しなど、自分のやりたい遊びを見つけて遊んでいます。そばにいる友達存在に気付きながら、友達がしていることに興味をもち、「私も一緒にやりたい」「僕もやってみよう」と、友達と一緒に同じような物を身につけたり、同じような物を作ったりして関わりながら遊ぶ姿が見られるようになりました。

安全面に十分留意しながら一人一人の遊びが充実するように、環境を整えたり、遊びの場や時間を十分確保したりしながら、楽しく過ごせるように援助していきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の『協同性』『社会生活との関わり』『自然との関わり・生命尊重』『言葉による伝え合い』につながる姿が見られます。

5月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 好きな遊びややりたい遊びを見つけ、先生や友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
- 身近な自然に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。
- 園生活の仕方が分かり、自分のことは自分でしようとする。

